

体験型おもてなしツアー

中部空港から知多半島巡る



おもてなしツアーを体験する
中国人観光客ら（常滑市で）

あすから 外国人観光客向けに

中部国際空港（常滑市）から焼き物のまち・常滑市などを巡る体験型おもてなしツアーが7日から始まる。ツアー開始を前に5日、外国人観光客らが2時間のサイクリングコースを体験した。

ツアーを主催するのは、知多半島内の企業などでつくる地域のまちおこしを目指す会社「知多半島ナビ」。中部国際空港会社やイオンモール常滑、常滑市などと連携し、ツアーを通して外国人観光客らに知多半島の魅力を伝えるとともに、地域の活性化を図るのが狙い。

ツアーは10コース。名鉄常滑駅などを出発点に、スタップが同行して徒歩や自転車、常滑市の焼きもの散歩道散策や、招き猫の絵付け体験、海沿いのサイクリングなどを体験する。所要時間は1〜4時間。価格は無料〜1万1000円（交通費は自己負担）。

この日は、中国人の観光客が自転車で海沿いをサイクリングしたほか、焼きもの散歩道の散策などを楽しんだ。知多半島ナビの榎原裕高社長は「空港を訪れる外国人観光客をターゲットにツアーを企画した。多くの人に知多半島の魅力を知ってほしい」と話す。将来的には知多半島全域にコースを広げたいとしている。

ツアーは完全予約制（<http://www.pedal-house.com>）で前日午後2時